

「授業年間計画表」(シラバス)

令和5年度版

教科・科目	教科	科 目	単位数	履修学年
	商業	情報処理	3 単	2 年 コース
目 標	・ビジネスの諸活動における情報の意義や役割を理解し、情報をビジネスに積極的に活用する態度を身につける。 ・コンピュータの基本的な仕組みやソフトウェアなどに関する基礎的な知識を習得し、目的に応じた機器の利用ができる。 ・表計算ソフトウェアやワープロソフトウェア、プレゼンテーションソフトウェア、情報通信ネットワークなどを活用したビジネス情報の処理ができる。			
使用教材	教科書：実教出版 『情報処理 Prologue of Computer』 副教材：実教出版 新検定対応 学習と検定 全商情報処理検定テキスト 3 級			
評価の観点・評価規準	知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	情報の収集・処理・分析・表現に関する基礎的・基本的な技術・知識を身につけ、ビジネスの諸活動における情報の活用を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。		ビジネスの諸活動において情報を主体的に活用することを目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、ビジネスの諸活動に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身につけている。	情報の収集・処理・分析・表現について関心を持ち、ビジネスの諸活動において情報を活用することを目指して主体的に取り組もうとするとともに、情報を活用する実践的な態度を身につけている。
評価方法	成績は、定期考査、授業および実習に対する取り組みの状況、課題の提出などから総合的に評価します。			
学期	学習内容		学習のねらい	学習活動
1	第3章 情報の集計と分析 1 節 ビジネスと統計 2 節 関数を利用した表の作成		●情報の重要性を理解し、情報を分析して、傾向を把握する能力を身に付ける ●表計算ソフトの基本操作や関数について学習する。 ●ビジネスにおける表計算ソフトの活用例、基本的操作や特徴を理解する。 ●表計算ソフトに用意された関数(計算式)について学習し、それを活用する能力を身につける。 SUM、AVERAGE、MAX、MIN、IF、COUNT、COUNTA、ROUND、ROUNDDOWN、ROUNDUP、RANKLEN、LEFT、RIGHT、MID、VALUE、TODAY、NOW 関数 関数のネスト	○学習プリント ○課題実習 ※コンピュータを使った実践的学習。『E x c e l』使用 ○期末テスト
2	3 節 グラフの作成		●表計算ソフトのグラフ作成機能を利用し、データを加工した表からいろいろなグラフを作成する方法を理解する。 ●表の内容をグラフにより視覚的に表現することで、意思決定や分析を素早く行う力を身につける。 縦棒、積み上げ棒、100 %積み上げ、横棒、折れ線、円、切り離し円、帯、レーダーチャート	○学習プリント ○課題実習 ○中間テスト ○期末テスト
3	2 節・3 節 ～ 応用的内容		●表計算ソフトの関数・グラフ作成機能を活用して、ビジネスに関する情報を有効に処理・分析・判断する方法を理解する。	○学習プリント ○課題実習 ○学年末テスト ○学習の定着を確認するために、全商情報処理検定3級受験を推奨する。
学習上の留意点	定期考査のみならず、日々の授業および実習に対する取り組みの状況が評価の対象です。実習課題、学習プリントを整理し、きちんと提出することが大切です。			

「授業年間計画表」(シラバス)

令和5年度版

教科・		教科	科目		単位数	履修学年
科目		商業	情報処理		3単位	3年 選択
目標		ビジネスに関する情報を収集・処理・分析し、表現する知識と技術習得をして、情報の意義や役割について理解するとともに、ビジネスの諸活動において情報を主体的に活用する能力と態度を身につける。				
使用教材		教科書：実教出版 『情報処理』 副教材：実教出版 新検定対応 学習と検定 全商情報処理検定テキスト 2級				
評価の 観点・ 評価基準		関心・意欲・態度	施行・判断・表現	技能	知識・理解	
		情報活動について関心を持ち、情報の活用法について積極的に取り組み実践的な技術・態度を身につける。	操作技術を習得し、課題に対し創意工夫して問題を処理、活用する実践的な力を身につける。	情報機器の活用に関する諸問題、課題に対して適切に処理・解決を目指して自ら思考を深める。また処理技術を身につけ、その成果を確実に表現している。	情報活用に関する基礎的・基本的な知識を身につけ、ビジネス活動における情報の役割を理解している。	
評価方法		定期考査。授業への取り組み状況、実習課題、実習の成果など総合的に評価します。				
学期	学習内容		学習のねらい		学習活動	
1	・表計算ソフトウェアの活用。 ・全商情報処理検定試験の資格取得への取り組み。		・2年次「情報処理」より上級の基礎操作や関数について学習する。 VLOOKUP、HLOOKUP、INDEX MATCH、AVERAGE IFS COUNTIFS、LARGE、SMALL SUMIFS、INT、MOD、TEXT FIND、SEARCH、AND、NOT、OR、DATE、YEAR、MONNTH、DAY、WEEKDAY、TIME、HOUR MINUTE、SECOND		・学習プリント ※コンピュータを使った実践的学習。「E x c e l」使用。 ・中間テスト ・期末テスト	
2	・応用操作の活用。 ・複合グラフの作成。 ・全商情報処理検定試験の資格取得への取り組み。		・複合参照、マルチシート、フィルタ処理 グループ集計、クロス計算 ・異なる種類のグラフを組み合わせ変化の推移と量の比較、単位の異なるデータをグラフで表す。		・学習プリント ・課題実習 ・中間テスト ・期末テスト ※検定試験対策（実技・筆記）	
3	・データベースソフトウェアの活用。		・データベースソフトウェアの基礎知識と実習。 ・データベースソフトウェアの活用・ビジネス情報の分析と活用。		・学習プリント ・課題実習 ・学年末テスト ※検定試験対策（実技・筆記）	
学習上の 留意点	定期考査のみならず、日々の授業および実習に対する取り組みの状況が評価の対象です。実習課題、学習プリントを整理し、きちんと提出することが大切です。					